さぁ、答え合わせをしよう！

第 29 週目 2／8 行ってみよう～奈良県（ならけん）からの出題

※ココを見てね！▶行ってみよう～奈良県（ならけん）

1. 奈良県の遺跡（いせき）の特徴（とくちょう）として、盆地（ぼんち）に集中しているのはどの時代ですか？

正解：③弥生時代（やよいじだい）と古墳時代（こふんじだい）

奈良県（ならけん）では県の人口の約9割が、北部の大和盆地（やまとぼんち）に集中（しゅうちゅう）しています。盆地（ぼんち）は米づくりに適（てき）しているので、人々にとって暮（く）らしやすかったのでしょう。旧石器時代（きゅうせっきじだい）から縄文時代（じょうもんじだい）の遺跡（いせき）が山間部に集中（しゅうちゅう）しているのに対し、弥生時代（やよいじだい）から古墳時代（こふんじだい）の遺跡（いせき）のほとんどが、盆地（ぼんち）でみつかっています。正解は、③です。

2. 二上山北麓遺跡群（にじょうさんほくろくいせきぐん）からみつかった石器（せっき）は、特徴的（とくちょうてき）な作り方です。それは、何？

正解：③瀬戸内技法（せとうちぎほう）

正解は「お宝ベスト5」1つ目に紹介（しょうかい）されているとおり、③瀬戸内技法（せといちぎほう）です。これは世界的にも珍（めずら）しい石器（せっき）の作り方で、近畿（きんき）地方・中国地方・四国地方でしか作られていません。ちなみに、「米ヶ森技法（よねがもりぎほう）」とは、石器（せっき）の材料（ざいりょう）となる石をむだなく使うために工夫された切り出し方のことです。瀬戸内技法（せといちぎほう）のことは、「調べてみよう～もっと知りたい縄文時代／旅する人たち」でも紹介（しょうかい）しているので、みてみてね。

3. 秋津遺跡（あきついせき）からは、縄文時代（じょうもんじだい）の昆虫（こんちゅう）が ほぼ完全（かんぜん）な形で見つかりました。それは、何ですか？

正解：②ノコギリクワガタ

「お宝ベスト5」2つ目を見てください。思わず、「すごいっ!!」と叫（さけ）びたくなるような、まるでつい最近（さいきん）、公園で見つけたような化石（かせき）ですね。頭にノコギリがあります。正解は、②ノコギリクワガタです。昆虫（こんちゅう）の化石（かせき）は細菌（さいきん）などで分解（ぶんかい）されるため、その姿（すがた）をとどめられないことが多く、今から3,000年前の縄文時代（じょうもんじだい）のものが、こんなに良い状態（じょうたい）で見つかるのはとても珍（めずら）しいことなんだよ。食品（しょくひん）を真空パックすると長もちするように、泥（どろ）や土に真空状態（しんくうじょうたい）で包（つつ）まれていたから、空気に触（ふ）れずにいられたんだね。

4. 纏向遺跡（まきむくいせき）から出土（しゅつど）した仮面（かめん）の素材（そざい）は、何ですか？

正解：①木

木という素材（そざい）は、水分を含（ふく）んだ状態（じょうたい）でおいておくと、長い長い年月の中で最終的には腐（くさ）って土にもどります。ところが、纏向遺跡（まきむくいせき）から出土（しゅつど）した仮面（かめん）には、眉毛（まゆげ）と目、鼻、口まであって、はっきりと人の顔だとわかります。とても貴重（きちょう）なものです。「お宝ベスト 5」3 つ目を読んでみてください。正解は、①木 です。

5. イスにちょこんと座（すわ）っている、かわいい男性の埴輪（はにわ）が見つかった遺跡（いせき）の名前は？

正解：②石見遺跡（いわみいせき）

正解は「お宝ベスト5」4つ目に写真付きで紹介（しょうかい）されています。正解は、②石見遺跡（いわみいせき）ですね。古墳時代後半（こふんじだいこうはん）の埴輪（はにわ）ということですが、男性がアクセサリーをつけています。きっとオシャレしているんですね。ちなみに、鍵・唐古遺跡（かぎ・からこいせき）からは、楼閣（ろうかく）が描（えが）かれた土器片（どきへん）がみつかっていて、史跡公園（しせきこうえん）で復元（ふくげん）されていますよ。